

学長メッセージ

学科長メッセージ

Office Information

神奈川工科大学 学内の「新型コロナウイルス感染防止対策」の概要



学長メッセージ

皆さんが未来を創る

このたび、入学、進学された大学院生、学部生の皆さんに心よりお祝い申し上げます。

今年に入り新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、未だ収束に至っていない状況です。我が国では5月25日に神奈川県を含む5都道県で緊急事態宣言が解除されました。しかしながら、警戒をしばらく続ける必要があります。

本学では2月に学長の下に新型コロナウイルス対策室を設置し、学生の皆さんの健康と安全を第一に考え、感染防止対策を鋭意実施してきました。その間、3月の卒業式、4月の入学式も中止させていただきました。本当に残念で、また申し訳なく思っております。

5月11日より全教員においてオンライン授業を開始し、皆さんのご協力のもと、順調に進行してまいりました。そして、このたびの緊急事態宣言解除を受け、オンライン授業では実現できない実験実習についても感染防止策を十分に立てた上で、学内での対面授業を段階的に開始しております。

コロナ禍は、皆さんにとって初めての戸惑うことの多い経験であり、不安なことも多々あると思います。皆さんが安心して大学生活を送れるよう全教職員一丸となってサポートしてまいります。支援の一つとして、経済面で緊急な課題を抱えている方に対して、国の支援制度とは別に本学独自の支援制度を創設しておりますので、ご活用をお願いします。

最後に、コロナウイルスは人類にとって大きな試練ではありますが、私たちは力を合わせ、これを乗り越えていかねばなりません。コロナ後の世界にはこれまでとは異なる新しい価値観が必要とされ、若い皆さんの柔軟な力が不可欠です。まさに皆さんが、これから先の未来を創り上げていくのです。その日は遠くありません。本学での学び、キャンパスでの様々な楽しい活動、仲間との出会いや語らいを通して、じっくり力を蓄えてください。

キャンパスで皆さんとともに学び、語り合うことを楽しみにしています。



神奈川工科大学学長
小宮 一三

機械エンジニアになるために 能動的な勉学への取り組みを

工学部 機械工学科
学科長

教授 高石 吉登



幼稚園から大学まですべての教育プログラムは、生きる上で必要とされる知識の学修を目的として設計されています。機械工学科の皆さんは、そのカリキュラムに従って、機械エンジニアになるための知識や素養を身につける学修に取り組んでいます。これは新型コロナウイルスの影響により異例のオンライン授業で始まった本年度においても不変です。

1M生の皆さん、入学初年度は、数学や物理の専門基礎導入科目、英語や人文社会系の共通基盤科目をしっかり学修してください。2M生の皆さん、材料力学、機械力学、流体力学、熱力学などの専門基礎科目、設計、製図、実験などの専門科目を履修し、機械工学のベースを築いてください。3M生の皆さん、選択科目を含め、機械工学の応用的な専門科目に挑戦してください。就職か、大学院進学か、卒業後の進路について考え、準備するときでもあります。4M生の皆さん、大学4年間の集大成としての卒業研究、社会で活躍の場を探す就職活動、この二つを両立させることが大切です。

オンライン授業においても望むべき成果が得られますように、皆さんの能動的な勉学への取り組みを切に期待します。

「他者の命を大切に思う心」 「他者の痛みを思いやる心」を 意識して責任ある行動を

工学部 電気電子情報工学科
学科長

教授 武尾 英哉



今年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、国内においても、たくさんの感染者が生じ、これまでに経験したことがないような健康への不安に直面するとともに、私たち自身の日常生活に多くの影響を今もお与えています。

このような中で、学生の皆さんの健康への不安をできるだけ解消するとともに、勉学や学生生活に励むことができる環境を整えることを第一とし、入学式の中止や授業開始日程の繰り下げ、オンライン授業の導入などを行ってきました。さらにこの事態が集束するまで次のことを心がけていただきたいと思います。

まず、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底して行い、健康に十分に留意いただきたいと思います。次に、本学の学生として、「他者の命を大切に思う心」「他者の痛みを思いやる心」を意識して責任ある行動をとっていただきたいと思います。さらに、教室で行う対面式の授業の回数は例年より少なくなりますが、オンライン授業における課題にしっかりと取り組み、科目の導入部の基礎を身につけてほしいと思います。

我々教職員は、教室での授業開始後、皆さんにお会いするのを楽しみにしております。共に、この未曾有の事態を乗り越えましょう。

学生の皆さんに、より迅速 かつ的確なアドバイスをする 仕組みを用意します

工学部 応用化学科
学科長

教授 竹本 稔



5月からオンラインでの授業が始まりました。対面授業のときと比べて学生の皆さんは授業内容を理解するのに苦労しているかもしれません。授業に関する質問をしたいけど授業中だと他の人が気になるしどうすれば、という人がいるかもしれません。そういうときはTeamsの中の1対1チャットを使って教員に質問してみてもどうでしょうか。さらにこの1対1チャットでビデオとマイクを使用すれば、教員から実質的に対面で個人指導を受けることができます。ぜひ利用してみてください。

最近、学生の皆さんから少しずつ意見をもらうようになりました。プライバシーに配慮しつつ関係部署と連絡を取りながら一つ一つ丁寧に解決しています。また、学科から学生の皆さんへ定期的に声掛けする仕組みを新たに用意しています。学生の皆さんに対し、より迅速かつ的確なアドバイスをしていきたいと考えています。

皆で力を合わせて乗り切っていきましょう!

自動車の新たな楽しさを 発見・創造し、充実した 1年にしてください

創造工学部 自動車システム開発工学科
学科長

教授 脇田 敏裕



入学・進級おめでとうございます。手探りで始まったオンライン授業も、皆さんから頂いた意見や要望を反映することで、例年以上に充実した内容になりつつあります。今後も引き続き改善を続け、新たな学びのスタイルを作っていきます。

さて、皆さんが取り組む「自動車」は、近年CASE (Connected, Autonomous, Shared, Electric)、MaaS (Mobility as a Service) といった100年に一度の大変革期にあります。この流れはアフターコロナの世界ですます加速し、今後新しい形の「自動車」がさまざま生まれていくでしょう。このようなエキサイティングな時期に自動車を学び研究できるのは、とても幸運なことです。学科としても、カリキュラムや授業・研究内容をどんどん更新し、企業と先進技術連携を深める一方、ロボカーレースなど新たな活動にもチャレンジしていきます。皆さんも、是非自動車の新たな楽しさを発見・創造し、充実した1年として下さい。

人間の特性を理解し、 人の助けとなるロボットを 開発しましょう

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科
学科長

教授 河原崎 徳之



2020年度の新学期が1か月遅れ、しかもネットを介した講義という形でスタートしていますが、皆さんお元気でしょうか。前期中はこのようなオンライン授業ですが、教職員一同、皆さんをサポートしますので、困ったことがありましたら、何でもお聞きください。

本学科は“確かな技術力、幅広い視野を身につけ、次世代ロボット開発に挑む”をキャッチフレーズに“人の生活を助けるロボットの開発”を目指しています。そのため、ロボット開発に必要な機械、電気、情報の知識はもちろんですが、人間の特性を理解する科目も学びます。また、座学だけでなく、ユニット系科目により、ものづくりの技術を実践的に学びます。

このようにロボット開発の技術を身につけた成果として、学生たちが各種のロボット競技会で優秀な成績を取っています。今後、われわれの生活において、ますますロボットの活躍が期待されます。ぜひ、本学科でロボット開発の技術を身につけ、人の助けとなるロボットを開発していきましょう。

今こそ目標設定を!

創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科
学科長

教授 金井 徳兼



皆さんお元気ですか? 新型コロナウイルスの感染に関する非常事態宣言が解除され、少しずつ平常を取り戻しつつあります。今後も、第二、第三波の感染が予想されています。皆さんは、ニュース等で日々状況をよく確認・理解し、健康に留意しながら責任ある行動をお願いしたいです。

現在、遠隔授業という私たち教員も初めて経験する方法で授業が実施されています。学生の皆さんも、新しい学修環境や手法をよく理解し、対応し、通常の学修以上の成果を得られるように取り組んでもらいたいです。やればできる!という気持ちを胸にこの状況を乗り越え、先々の取り組みにつながる良い経験や思い出になるようにして欲しいです。遠隔会議ツールを活用できることは新しい社会様式でも重要となるので、ぜひマスターしてください。

各学年には、学修の取り組み目標があります。また、学生生活などを通しての社会経験を積み、趣味を極めることも大切です。自分のこの年度、大学卒業後の目標を設定してその実現に向けて取り組んでください。

今、我々は人生で一番大きな危機に直面していると言っても過言ではないと思います。

今一度、自分自身を振り返り日々を充実させて下さい。感染が落ち着いて皆さんと大学キャンパスでお会いできることを学科教職員一同楽しみにしています。

主体的な体験を通して 知識の定着と応用力の涵養を

応用バイオ科学部 応用バイオ科学科
学科長

教授 飯田 泰広



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2年生以上の皆さん、新たな気持ちと複雑な思いで新年度を迎えたことと思います。

さて、応用バイオ科学科は2020年度から医生命科学特別専攻に加えて、生命科学コースを設置し、これまでのカリキュラムをベースとした応用バイオコースと合わせて3コース制として出発しました。知識を応用し、社会に還元できる力を培う農学的、工学的な分野に加えて、真理を探究する理学的な要素を取り入れ、広がるバイオの需要に応えられるカリキュラム作りに取り組んでいます。新しい先生方も加わりますので、楽しみにしててください。

本学科は、コミュニケーションを取りながら作業を行い、実践的な力を身につける取り組みが数多くあります(実はとても珍しいカリキュラムです)。そのような主体的な実体験こそ、知識の定着と応用力の涵養につながると考えております。大学に入構できるようになったら一緒に取り組んでいきましょう。オンライン授業でも主体的な時間の使い方が大切です。質問や要望など含め、連絡を取り合いましょう。

教職員一同、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

自律的な学びと成長を 実現するために、共に考え、 行動し、価値観を共有しましょう

情報学部 情報工学科
学科長

教授 納富 一宏



ようやくコロナ対策のための緊急事態宣言が解除されましたが、まだ予断を許さぬ状況にあります。保護者の皆様におかれましては大変ご心配のことと存じます。

今年度の前期中は遠隔授業(オンライン授業)が継続となり、新入生諸君をはじめ学生諸君は、まだ大学での対面授業は実施できておりません。

しかしながら、「オンライン」によって、大学や私たち教職員と「いつでも・どこでも繋がる」ことができます。学生諸君にとって、これからの時代はICT(情報通信技術)の活用を通して、新しい学びの形を見つけることが大切です。真の実力を身につけ、自律的な学びと成長を実現するために、私たち教職員と共に一緒に考え、行動し、失敗や成功体験を積み重ねることで価値観を共有しましょう。

オンラインという新たな形で生み出される価値観は、従来と変わらず、学生にとって最も大切な「人間力」(文科省)や「社会人基礎力」(経産省)を育むことでしょう。情報工学科で学ぶ全ての学生諸君が安心して勉学に取り組めるよう、私たちはいつでも見守り、声援を送り続けます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

人々を豊かにする 将来に向かって 皆さんと一緒に頑張りましょう

情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科
学科長

教授 白杵 潤



新年度を迎え、桜をテレビで感じ、静かな5月連休を過ごすうちにオンラインでの不思議な大学生活が始まりました。このような中、私が担当する本学科1年生の授業の冒頭では、皆さんにお見せしたかった「青空の下での満開の桜と本学のシンボルとも言える情報学部棟の写真」を目で見て感じてもらいながら、新年度のご挨拶をさせていただきました。

さて、オンライン授業は教員にとっても初の経験で、受講者の疲労と気分転換なども心がけながら良い授業を実施できるように日々試行錯誤しています。一方で、皆さんからは通常よりも距離感を短く感じ始めたという声を耳にするようになってきました。

これは、世界に求められる新しい生活スタイルの始まりを体感している瞬間なのかもしれません。この瞬間を刮目し、今こそネットワークの知識や技術を活かす練習台であると考え、苦境を共に乗り越えながら皆さんの力にさらなる磨きをかけ、これからの新しい生活スタイルを生み出す場として活かしてみませんか？人々を豊かにする将来に向かって皆さんで頑張りましょう。

日々、一步一步前進すれば、 必ず目標にたどりつきます

情報学部 情報メディア学科
学科長

教授 佐藤 尚



今年度の前期の授業はオンラインでの実施となりました。このような環境での学修に皆さんが戸惑われていると思います。特に、新入生の皆さんは、高校までの勉強の仕方の違いにも戸惑っているのではないかと思います。高校までの勉強では、先生は全ての問に対して答えを持っていました。しかし、大学では異なります。本学科の梶先生に鬼滅の刃のように大ヒットする漫画の原作の作り方を聞いても、きっと教えてくれないでしょう。もしその答えを知っていれば、多額の印税を手し、悠々自適の生活を送っていることでしょう。しかし、自分で考えた漫画の原作を持って行けば、どのようにブラッシュアップをすれば良いかは教えてくれるはずですよ。

大学では、自ら主体的に学修に取り組むことが大切です。主体的に学修に取り組むとは、「自ら調査・研究し」、「次の新たな段階に進む」ことです。主体的な取り組みのためには、基礎的な知識と経験が重要となります。大学生活の中で、これらを身につけて下さい。そして、日々一步一步前進して下さい。そうすれば必ず目標にたどりつきます。

こんな状況での学年の始まりですが、情報メディア学科の学生の皆さんが前進し、目標に近づくことを心から期待しています。

人の心に灯をともし 看護職を目指す看護大学生に

健康医療科学部 看護学科
学科長

教授 新実 絹代



新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本看護学科へのご入学を心より歓迎致します。新2年生、新3年生、新4年生の皆さん、進級おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染に伴う状況下で、入学式の中止、開講の遅れ、オンライン授業など、新学期のスタートに胸膨らませておられた中で、不安や戸惑いも多くお過ごしのことと思います。

しかし、皆さんが志す看護の道は、今回のようなウイルス感染、災害看護を始めとする危機状況においても、対象となる人々の心に希望の灯をともし責任を果たす仕事です。今、最前線で奮闘されている医療従事者に多くのエールが送られています。5月29日のブルーインパルスが都心上空を飛び医療従事者への敬意と感謝の白いスモークのシュプールは感激でした。皆さんも看護大学生としてのプライドを持ち、新たな学修に取り組んでください。通常とは異なる状況ですが、自己教育力で主体的に学ぶ姿勢や能力を培う機会と考え、ピンチをチャンスに変えて頂きたいと思います。

いつでも皆さんの疑問や問題には対応していきますので、何でもご相談ください。看護学科教職員一同全力でご支援致します。

この状況をチャンスと捉え、 バランスのとれた食事のとり方を 考えてみましょう

健康医療科学部 管理栄養学科
学科長

教授 澤井 淳



新入生・在学生の皆さん、入学そして進級おめでとう。コロナ禍での自粛生活の長期化、そしてオンライン授業の延長と、ある意味歴史的な転換点に私たちはいます。新入生は、いまだにキャンパスの地を踏むことも出来ず、送付された大量の授業の資料に戸惑っていることでしょう。在学生は突然大学への立ち入りが禁止となり、ロッカーや研究室にあった教科書類も含めて送っています。自宅学修は難しい面もあると思いますが、管理栄養士という自身の将来へ向けた勉学を、着実に進めて下さい。いま、家庭における食事の重要度は否応なく高まっています。この状況をチャンスと捉え、バランスのとれた食事のとり方を考えてみてください。大学における学びの基本は「自ら学ぶ、自ら行動する」ことです。しかし迷ったときには、自分一人で抱え込まないで下さい。友人・先輩、そして教職員に、遠慮せずネット上で情報を共有・相談して下さい。そして、この試練を乗り切った後は、実際のキャンパスで、皆で学べる喜びを共有しましょう。

臨床工学科の学生の皆さんへ

健康医療科学部 臨床工学科
学科長

教授 松田 康広



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、本学科でもオンライン授業による学修が続いております。皆さんの学びを止めないために、オンライン授業で可能な講義科目はオンライン授業で実施し、対面でないと難しい実習等は、これから感染防止対策を取りながら実施していく予定です。4年生向けの国家試験対策演習、学内模擬試験なども、7月以降実施していきます。延期となりました臨床実習は9月以降に実施できるよう、準備を進めております。

新入生の皆さんは、大学に通うことができず、不安な中で学修を進めていると思います。9月から改めて新入生ガイダンスを行ったり、対面での集中授業を実施していきます。前期の授業の遅れについては、後期に取り戻せるように、学科として対応策をとっていききたいと思います。質問や不明なことがありましたら、各科目担当者やクラス担任に遠慮なくお問い合わせください。

教員一同、皆さんと早く会えることを願っています。



Office Information

緊急事態宣言解除後の本学の行動指針につきまして、6月4日に本学ホームページで公表いたしましたが、ここであらためて、学生支援本部よりご案内いたします。本学では、学生の皆さんの健康と安全を第一に、万全な感染防止対策を整えます。また、本学奨学金や、緊急時奨学金貸与制度、本学アルバイト雇用など経済的支援も積極的に行ってまいります。

教務課

新型コロナウイルス感染症に関連して、全学において、5月11日(月)より登校を不要とする「オンライン授業」を導入しております。当初は、5月11日～6月13日までとしておりましたが、社会情勢および保護者の方々からのご要望も考慮し、8月22日(土)まで継続し延長する方針を決定いたしました。

現時点(6月15日現在)では、この方針に変更はございません

レベル	授業に係わる行動指針の概要
5	全学オンライン授業のみ
4	原則オンライン授業 大学院(博士後期及び博士前期2年)、 国家試験対策上必要な実習は入構可
3	原則オンライン授業 レベル4に加えて、大学院(博士前期1年)、 学部4年(卒業研究着手者のみ)は入構可
2	原則オンライン授業 レベル3に加えて、学部1～3年の実験・実習は入構可
1	原則対面授業 感染防止拡大に注意して授業の実施、オンライン授業の併用可

※レベル4・3・2においては、一日当たりの入構人数に上限を設けております。

ん。その上で、本学では、独自に5段階による「行動指針」を定め、授業に関する運用を開始しております。

今後は、本学の行動指針に基づき、学生の登校を段階的に許可いたします。

今後の対応については、適宜、本学ホームページにて、ご案内いたしますので、定期的に確認いただければ幸いです。

引き続き、政府、文部科学省、厚生労働省、神奈川県などによる通達・指針などを基に、学生の皆さんの健康と安全を第一に対処して参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



オンライン授業の様子

キャリア就職課

【6月以降の就職活動支援について】

<2021年卒(学部4年生、院2年生)対象>

- ◆2021年卒対象大学限定Web合同企業説明会の開催
第1回：IT企業版第1回 9社(5/26～28) ※実施済み
第2回：3月合同企業説明会実施キャンセル企業中心 62社(6/1～8) ※実施済み
第3回：本学個別開催希望企業 28社(6/10～12) ※実施済み
第4回：IT企業版「第2回Web説明会」30～40社参加予定(6/29～7/10開催予定)
- ◆Zoomによるキャリアアドバイザー(6名体制)、及びIT企業(産学連携人材育成事業の会員企業)の人事担当者による就職相談実施

<2022年卒(学部3年生、院1年生)対象>

- ◆6月1日よりWebによる前期就活セミナーを開始。8月上旬まで全10回のプログラムで、自己理解・仕事理解のための

アセスメントや業界・職種研究、夏休みのインターンシップ対策・準備、就職試験についてのガイダンスで構成しています。(医療系学科(臨床工学科、看護学科)については別途6月下旬より実施。)

- ◆夏期休暇中のインターンシッププログラムについて参加者募集に関する情報公開を開始。コロナ禍の影響で夏期休暇期間が短くなり体験期間が限定されますが、企業側は比較的積極的です。就職活動にも結びつく体験となるのがインターンシップです。将来の選択の幅を広げることにつながってください。

また、キャリア就職課では、就職・キャリア総合サイト「KAIT Career」で、今後の就職活動の進め方など様々な情報を発信しています。

<http://kw.kait.jp/career/>

誰もが経験をしたことの無い状況で新年度がスタートし、前期期間は原則、オンラインで授業が進められます。授業だけでなく、自粛制限が緩和されても、マスク着用や、物理的な距離を保つなど、これまでとは違う「新しい生活様式」に慣れる事が求められています。そのような環境では、誰しもストレスを感じ、人間関係や勉強・研究が辛くなったり、また心や体にさまざまな不調が現れたりする場合があります。そのような時は、お気軽に学生相談室をご利用ください。新しい生活に慣れようとする、人は無理をしがちです。まだ頑張れると思わず、不調が現れる一歩前に話してみましょう。

学生相談室では、学生、学生保護者の皆さまを対象に、電話相談を含めオンラインでの相談を行っています。ご相談は、以下の学生相談室宛メールでお申し込みください。

学生相談室

E-mail sodan@kait.jp

開室：平日 9:00～17:00 (昼休み 11:40～12:30)

HP：<http://kw.kait.jp/kw/life/counseling.html>

また、オンライン授業・学修の進め方に戸惑いを感じている。課題がいくつか出されているが、何から手を着いたら良いかわからない。学修意欲が薄れて来たように感じるなどの様々な悩み、相談については学生サポート室が対応しています。また、障がいのある学生の皆さんの学修に関する相談も学生サポート室が窓口になっています。

ご相談は、上記の学生相談室宛にメールでお申し込みください。

学生サポート室

E-mail support@kait.jp

開室：平日 9:00～17:00 (昼休み 11:40～12:30)

HP https://www.kait.jp/campuslife/st_support/

(学生サポート室より)

学生の皆さんが、安心して大学生活を送れるようにサポートしています。昨年度はメールでのやり取りが2425件、電話が544件、面談が525件、訪問が21件(いずれも延数)ありました。ちょっと困っている、ちょっと悩んでいるなど、悩みや困りごとが小さいうちに気軽に私たちに相談してください。何に困っているかを丁寧に聞き取り、担任の先生をはじめ学内の他部署と連携して支援をしていきます。また、どこに相談したらいいかわからないときにも連絡ください。困っていることを解決するために、より適切な場所につなげていきます。

新型コロナウイルス感染症対応経済支援について

新型コロナウイルス感染症対応経済支援につきましては、学生課でご相談を受け付けています。

学生課

E-mail gakusei@kait.jp 電話 046-241-9394

ご相談対応時間 平日 9:00～17:00

(昼休み 11:40～12:30)

<本学奨学金による支援>(6月15日現在)

幾徳学園奨学金(無利子貸与) / 緊急時奨学金貸与制度(無利子貸与) / 幾徳学園授業料貸与制度(無利子貸与)

<国・厚木市による支援>

学生支援緊急給付金給付事業 / 日本学生支援機構奨学金 / コロナに負けない! あつぎ学生就労等支援補助金(厚木市)

<本学アルバイト雇用による支援>

学生サポート室業務支援スタッフ / 学生課・教務課業務支援スタッフ / 企画入学課支援(Webオープンキャンパス) スタッフ

<オンライン授業支援>

パソコン・タブレット、モバイルWi-Fiルーターの無償貸与

※申請受付を終了している事業もあります。

詳細は本学ホームページをご確認ください。

https://www.kait.jp/cv19_info/financial_support.php

部分的に登校が開始されていますが、風邪症状が出たら登校を控えてください。

風邪症状のチェックポイント

- ☐ 発熱(37.0℃以上*) ☐ 頭痛 ☐ 咳 ☐ のどの痛み
☐ 倦怠感 ☐ 嘔吐 ☐ 下痢

*日頃からご自身の“平熱”を把握しておきましょう。ご自身の平熱より高ければ“発熱”としてチェック。

健康観察(検温・体調管理)を行い「健康観察記録表」に記録しましょう。

「KAIT Walkerのキャンパスライフ」から「健康管理室」にアクセスし「健康観察記録」を確認してください。

体調不良(風邪症状)になった時には、学生課または健康管理室まで連絡をください。

神奈川工科大学 学内の「新型コロナウイルス感染防止対策」の概要

本学では、感染防止のため下記の通り、対応・対策をとっております。(一部予定を含みます)

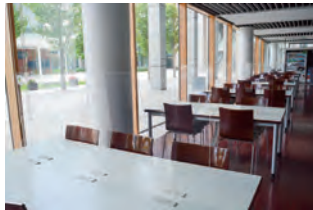
<大学内入構(水際)対策>

K3号館1階ロビーに「検温・体調確認ステーション」(開設日時:平日9:00~16:40)を設置しました。特別許可を得て入構する学生の皆さんは全員必ずこのステーションに寄って、「瞬時検温表示スクリーン」にて体温を確認、及び体調確認を行った上、入構許可証シールを発行。服に貼って入構いただいております。また、大学内への入構に特別許可を要しなくなった後は、自動検温ステーションとして活用します。また、教職員用の自主検温ステーションをK1号館1階に設け、教職員の体調管理に活用します。



<3密(密閉・密集・密接)対策>

- ◆講義室には距離を空けた着席指定シールを貼り、食堂、図書館は席数を間引きし、身体的距離を確保します。
- ◆自主学習ロビーや、食堂等のマスクを外し飲食する場所には、席数の削減に加え、飛沫防止板(本学KAIT工房にて製作)を配置しました。
- ◆学生サービス棟内の全部署、また、図書館のカウンターに、飛沫防止板を設置しました。



<消毒等の対策>

- ◆講義室・食堂・自主学習ロビーは閉館日を除き毎朝(一部夕方)全室、机の天板・ドアノブのアルコール消毒を実施。また、すべての建物のエレベーター行先ボタン、トイレ内のレバー・水栓も同様に毎朝消毒を実施します。
- ◆守衛室及び各建物入口に手消毒用アルコールを設置します。講義室がある建物は、全フロアに消毒用アルコールを設置。食堂内には複数の消毒用アルコールを設置します。
- ◆全教員に、ハンディアルコール消毒スプレーを配付し、授業等で触れる場所の細かな消毒を実施。なお講義用マイクには使い捨てカバーをかぶせ教員ごとに交換を行います。



<発熱者等待機ドームテントの設置>

大学内で発熱した場合の感染防止対策として、発熱者専用待機ドームテント(冷房付)をK2号館健康管理室のすぐ近く(屋外)に設置しました。



<万一の感染者に備えた対策>

- ◆消毒センターをC5号館2階に設置。消毒薬・噴霧器・防護服を配備し、発症者が出た場合の速やかな消毒実施が可能です。(保健所との事前の消毒作業打合せ実施済)
- ◆発熱者送迎車両を配備予定です。大学所有のワゴン車を運転席と後部席を区画処理し、発熱者の輸送に対応します。さらに、同窓会より感染防止区画車両1台が追加寄贈予定です。

着任の挨拶 2020年度より本学に着任された先生方をご紹介します。

本年4月より応用バイオ科学部に着任した村田隆と申します。2020年度にスタートした生命科学コースを担当しています。私の専門のバイオイメージングは、生き物の内部を生きている状態で「見える化」して生命のしくみを探る方法です。多くの研究者の役に立つ知識や技術を生み出すことによって、最後は一般社会への貢献につながります。これからも、生き物が好きな学生がわくわくする研究を進めてまいります。よろしくお願いいたします。



応用バイオ科学部 応用バイオ科学科
教授 村田 隆

本年4月より看護学科に着任いたしました吉田真里子と申します。成人看護学領域(慢性期)を担当しています。看護師の臨床経験は、がんに関わっている患者や家族に関わることが多かったです。そのため今までに、終末期がん患者の家族のQOL(Quality of Life)、また造血幹細胞移植を受けた患者のQOLのみならず、患者のQOLを医療者はどのように認識しているか、といったことを中心に研究をしてきました。最近は、学生の学修を支援するためには、どのようなシミュレーション学修方法が効果的か、ということも研究テーマにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



健康医療科学部 看護学科
教授 吉田 真里子
(成人看護学領域)

【専門】バイオイメージング、細胞生物学、植物学、生物進化
【担当授業科目】化学・生物学基礎ユニットプログラム、生命科学基礎ユニットプログラム、進化生物学I・II、初年次ゼミナール、卒業研究

【専門】がん看護、緩和ケア
【担当授業科目】成人看護学概論、成人看護活動論Ⅱ・Ⅲ、成人看護学実習Ⅱ、看護研究Ⅱ

この度、管理栄養学科に就任しました菅野丈夫と申します。

私は3月まで東京・品川にある昭和大病院に勤務し、たくさんの患者さんを診療してきました。これらの経験を私の担当授業である臨床栄養学に生かしていきたいと考えています。医療における栄養管理は、治療の基盤であり、時として治療の中心となるものです。そして近年、医療における栄養管理の重要性はますます高まり、それに伴って管理栄養士の必要性も認められるようになってきました。

このような時代の要請に応えることのできる管理栄養士の育成に、情熱を持ってあたっていきたくと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



健康医療科学部 管理栄養学科
教授 菅野 丈夫

【専門】 臨床栄養学、慢性腎臓病、透析における食事療法と栄養管理に関する研究
【担当授業科目】 臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養臨床実習、栄養サポートチーム（NST）論、+α資格取得プロジェクトⅣ「臨床栄養」、専門演習

本年4月より基礎・教養教育センターに着任いたしました高嶋渉と申します。運動に伴うトレーニング適応や、運動時のエネルギー効率などを研究テーマとしてきました。担当する共通基盤教育科目、健康・スポーツ系分野の講義を通じて、学生の皆さんには卒業後の長い人生においても運動・スポーツを健康の維持増進のために使いこなせるテクニックを身につけてもらいたいと考えています。また、学問領域としてのスポーツ科学を知ること、スポーツをするのも、みるのも面白くなることは間違いありません。よろしくよろしくお願いいたします。



基礎・教養教育センター 保健体育系列
准教授 高嶋 渉

【専門】 スポーツ科学、トレーニング科学、運動生理学
【担当授業科目】 健康・スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、レクリエーションスポーツ、生涯スポーツ実技、学外スポーツ

本年4月より看護学科に着任いたしました辻田幸子と申します。病院での看護管理経験を活かし、基礎教育での看護管理学と看護生涯学習センターでの現任教育を担当します。少子高齢社会の今、医療従事者不足を背景に医療提供体制が見直され、医療と生活をみることが出来る看護職に期待がよせられています。そのような中、看護職は今まで以上にマネジメント力が求められます。他職種との協働、看護職のマネジメント力に関する研究を進め、安心して医療を受けることのできる社会への貢献ができればと考えております。よろしくお願いいたします。



健康医療科学部 看護学科
助教 辻田 幸子
(看護管理学領域)

【専門】 看護管理学
【担当授業科目】 看護管理学、看護研究Ⅱ、統合実習、基礎看護学実習Ⅰ

本年4月より看護学科に着任いたしました黒澤敦子と申します。成人看護学領域（急性期）を担当しています。看護の道を志す学生さんのフレッシュな感性や、人を見つめる眼差しに触れる喜びを感じています。これまでの臨床経験を活かして、こんなときに患者さんはどう思っている？看護としてどんなサポートができる？と、一緒に考えていきたいと思っています。皆さんの熱量に負けないよう、微力を尽くしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



健康医療科学部 看護学科
助手 黒澤 敦子
(成人看護学領域)

本年4月より健康医療科学部の学部長として着任しました。これまで北里大学で研究・国際交流担当の副学長、医学部の大学院研究科長を務めてきました。医学部では、“炎症”や“がん”などの病態に関わる血管新生、リンパ管新生という生命現象の研究を行ってきました。これまでの経験を生かし、国家資格取得に加え、理工系大学の強みを生かした付加価値を期待できる教育を展開したいと存じます。また、現在の医療で重要なのは、チーム医療です。3学科の学生諸君の交流の場を広げ、コミュニケーション力や協調性を高めていく環境づくりをめざします。どうぞよろしくお願いいたします。



健康医療科学部 臨床工学科
特任教授 馬嶋 正隆

【専門】 薬理学
【担当授業科目】 病理学、特別講義（看護学科、管理栄養学科、臨床工学科）

本年4月より看護学科に着任いたしました高野真由美と申します。老年看護学領域を担当しております。これまで、主に看護学生と高齢者とのコミュニケーションをテーマに研究を行ってきました。若い看護学生と異世代である高齢者との交流は、世代性や文化の伝承とともに高齢者の生き方から学ぶことで、学生自身の大人としての成長に繋がります。また、看護における対人援助力の基礎を培う影響を与える意義もあります。看護基礎教育を通し、臨床にて高齢者看護を実践できる人材育成に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



健康医療科学部 看護学科
講師 高野 真由美
(老年看護学領域)

【専門】 老年看護学
【担当授業科目】 老年看護活動論Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護研究Ⅱ、実践看護統合演習、看護統合実習

本年4月より臨床工学科に着任しました西村宗修と申します。私は、血圧調節のために働く、圧受容器反射を基本とした神経性調節機構について、基礎研究を行ってきました。ヒトが姿勢を変えると、重力の影響で体液がシフトして循環動態も変化します。この時に、適切な調節が行われないと様々な問題が生じます。私の研究室では、循環系デコンディショニングに関連する基礎データの蓄積や分析を行い、生活の質（QOL）の向上に貢献することを目的として研究を進めます。皆さんと共に学び、自らも日々成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



健康医療科学部 臨床工学科
助教 西村 宗修

【専門】 循環生理学、血圧調節、健康科学
【担当授業科目】 臨床工学セミナー、チーム医療論、生体計測機器学実習、医用機器安全管理学実習、医用治療機器学実習、生体機能代行装置学実習Ⅰ・Ⅱ、基礎医学実習、臨床実習、卒業研究

本年4月より小児看護学領域・助手として着任しました高柳亜紀と申します。私はこれまで病院、地域、保育園など、様々な小児看護のフィールドを経験しました。今や小児看護の活動領域は病院のみならず地域、保育所や学校、発達支援センターなど、場が拡大しています。また昨今の少子化や核家族化などの社会構造の変化に伴い、養育者である家族への支援も重要となっています。あらゆる健康レベルの子どもの健やかな成長を促進し、そして、その家族が安心して育児に臨める小児看護の在り方を共に学び、発展させて行きましょう。



健康医療科学部 看護学科
助手 高柳 亜紀
(小児看護学領域)



オンラインで行われているさまざまなサポート

「English Lounge Zoom」を開始しました！

English Loungeでは、学生の皆さんが在宅学習の期間であっても英語に触れる時間を作っていただくためEnglish Lounge Zoom「無料オンライン英会話レッスン」を開始しました。どなたでも自由に好きな講座にご参加ください。「オンラインだと参加する勇気が無い…」と思われるかもしれませんが、現在、多くの1年生の方にも利用いただいています。皆さんのご参加をお待ちしています。

◆TOEIC対策講座	月曜日～金曜日	12:40～13:40
◆英語初級者講座	月曜日～金曜日	13:50～14:50
◆フリートーク	月曜日～金曜日	15:00～16:00

<参加方法>

全ての講座の接続先
<https://us02web.zoom.us/j/2275521383>
 Meeting ID: 227 552 1383
 ※パスワードは不要です。
 講座で利用するテキストはHPIにアップロードされます。
 事前にダウンロードの上、ご参加ください。
<http://ic.kait.jp/english-lounge>

レッスンに関する不明点は国際課までお願いします。
ic@kait.jp

オンライン基礎教育支援センターを利用しよう！

5月から基礎教育支援センターのオンライン利用を開始しました。従来は対面で相談を受け付けていましたがコロナウィルス対策によりメールでの対応とさせていただきます。数学・物理・化学・生物・英語・文章の科目で分からないことがあればメールで質問してください。利用方法は基礎教育支援センターのホームページをご確認下さい。
<http://www.kanagawa-it.ac.jp/~l4015/kiso.html>

開始からこれまで、120件以上の利用がありました。少しでも不安を感じている方は、まずはメールで連絡をください。皆さんの利用をお待ちしています。

申込アドレス：su@ccml.kanagawa-it.ac.jp

情報学部とインドネシア・バタム国際大学が共同Webinarを開催しました

情報学部では、例年2～3月にかけて、インドネシア・バタム国際大学（UIB）にて、海外研修を実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、2週間ほどで中断となりました。

しかし、同海外研修に参加していた学生たちに英語での授業の機会を提供したいと考え、さらに、自宅学習をしている他の学生に対しても、興味のあるトピックで学んでもらおうと、5/18～5/20、共同Webinarを実施しました。

本学からは、情報学部の田中博教授、坂内祐一教授、鷹野孝典教授がオンラインで講演を行い、各講演で合計200名以上の参加がありました。

5/18、田中博教授と坂内祐一教授が講演。司会進行は、UIBのTony Wibowo先生が務められました。

坂内教授は、AIとニューラルネットワークの基本について技術的な解説を行い、深層学習のGANs（Generative adversarial networks）を利用した似顔絵の画像自動生成の取り組みについてデモ説明を行いました。学生からは「AIについての法律は日本ではどうなっているか?」「Society5.0に向けてどのようなAIの利用が考えられるか?」などの質問がありました。

また、田中博教授は、モバイル通信において初期から5Gにいたるまで、通信を高速化するためにどのように技術が進化してきたかという話や、それを実現するための技術的な課題を解説しました。学生やTony先生から

は、「4Gから5Gで通信性能が向上しているが、なぜ通信が高速化できるのか?」「エッジコンピューティングにおける5Gの利点は何か?」などの質問がありました。

オンラインで講演した先生方の表情は常時映し出され、ライブの臨場感がありました。質疑応答も、Tony先生の司会によりスムーズに進行され、先生方が即応的にわかりやすく説明されており、ライブならではの内容になりました。

5/19は、鷹野教授が「Brief Survey of Challenging Information Technology for Coping with COVID-19」のタイトルで講演を行いました。Johns Hopkins大学が提供しているCOVID-19の感染者データを使って、感染者数の倍加時間や基本再生産数を計算した結果を示し、ニューラルネットワークで肺X線画像からCOVID-19の感染を推定する技術や、GoogleとAppleが共同で開発している、感染した可能性を通知するBluetooth技術（新型コロナウイルス感染者追跡用ツール）などが紹介されました。



バーベキュー場が整備されました

大学内の第二食堂東側にある学生バーベキュー場は、ゼミや卒研、クラブ・サークルの人気施設として利用されていますが、この度、約64㎡の開閉式テント布地屋根が同窓会から寄贈され、また、本年3月の卒業生から、焼き場・調理台・洗い場シンクが卒業記念品として寄贈されましたので、これらを活用し再整備いたしました。

今まで雨天では実施できなかったバーベキューが、広げた屋根の下で着席をして（32席）実施可能となりました。



名誉教授記 授与者

永年に亘り本学の教育・研究の分野において、多大な貢献をされた右記の方々に名誉教授の称号が授与されました。

<名誉教授記 授与者>

下川 博文	名誉教授（元工学部 電気電子情報工学科教授）
松尾 崇	名誉教授（元工学部 臨床工学科教授）
込田 伸夫	名誉教授（元基礎・教養教育センター教授）
荒川 勝彦	名誉教授（元基礎・教養教育センター教授）
梅津 裕美子	名誉教授（元基礎・教養教育センター教授）
故岡 部 勝	名誉教授（元応用バイオ科学部 応用バイオ科学科教授）